

ID:

Class:

Name:

2009 英語 I / 英語 II のスタディ・マニュアル【保存用】

注意！ これには英語 I/II の授業のために重要な情報が書かれているので決してなくさないように。
また、常に携帯していつでも参照できるようにすること。

外国語は学習者が自ら積極的に努力することによって初めて習得できるものです。誰かに『教えてもらおう』というよりもっと積極的に『(スキルを) 獲得しよう』という態度で臨んで下さい。

英語を習得するためには聞いたり読んだりする英語のインプットの絶対量が必要です。それと同時に書いたり話したりするアウトプットの練習も欠かせません。高校までに身に付けた基本を応用し英語が頭の中で自動的に処理出来るようになるまで頑張りましょう。大学は自律的な学習態度を身に付ける場所です。英語の学習も積極的に主体的に行っていきましょう。

A. クラスの構成

英語 I/II では以下の2つのセクションで違った内容のことを学びます。(A から L のクラスによって授業の時間が違いますので、クラスが決まったら時間割表で担当教員、時間、教室を確認すること。)

火曜日： 藤井里美, 萩原明子, 今井光子, 小林薫, A. Little, 内藤麻緒, R. Shooltz

金曜日： 藤井里美, 半田純子, 金子ひろみ, 加藤暁子, A. Little, 西川玲子, 野木園子

[クラス担任]

*授業内容などに関する質問はすべて担任にすること。

A クラス：Little B クラス：野木 C クラス：加藤 D クラス：半田 E クラス：西川

F クラス：萩原 G クラス：Little H クラス：Shooltz I クラス：今井 J クラス：内藤

K クラス：小林 L クラス：藤井

*オフィスアワー

前期： 萩原 火曜日 (15:20～16:30) EFL 研究室 (メールで連絡も可：hagiwara@ls.toyaku.ac.jp)

後期： 萩原 水曜日 (11:50～13:00) EFL 研究室 (メールで連絡も可：hagiwara@ls.toyaku.ac.jp)

その他の教員は担当曜日のみ大学にいますので、質問などは授業の前後に行うか個々に連絡をとること。

1. 火曜日の4限または5限の授業：Listening and Speaking Class

授業の概要：英語の口語について体系的に学びます。方法は実際に使用される状況を想定して、場面に応じた言葉の使用をビデオの例を参考に学びます。実際に登場人物になりきって練習すると、同様の場面で表現が使えるようになるはずです。教材の内容が分かるのが目的ではなく、教材の内容を応用し、実際使えるようになるのが目的です。内容理解は最初のステップですので、MyELT というオンラインの自習教材を使用し、なるべく、授業に来る前に内容を充分理解しておいてください。授業ではリスニングの練習をしたりビデオ教材のスキット部分を口頭で再現したり、応用した

りといったことが中心になります。頻繁に使用する口語表現に関する知識も多少勉強しますが、それらが使えるようになるということがより重要です。さらに、英語で自分の意見を発表する練習も行います。話す内容が分からない状態で授業に来て発表することはできません。日頃から、いろいろなことに関して自分の意見を持ち、まとめる練習をしておくといいいでしょう。口頭で意見を発表する為には、意見を簡単に英語で書いてみるということも必要です。それを充分練習しておくとし、きっと口頭でも何も見ないで、だんだん自分の意見がいえerようになると思います。分かっているけど使えない、というレベルでは、授業の目標の達成にはまだ至りません。友達と十分に練習して、本当に使えるようにしておきましょう。

◆目標：

1. 簡単な英会話ができるようになる。
 - a. 英語でのやり取りを聞いて内容が理解出来るようになる。
 - b. 英語の決まり文句やよく使われる口語表現を学び、使えるようになる。
 - c. 話す相手によって変わる言葉遣いの違いを知り、使いこなせるようにする。
 - d. 会話でよく使われる文型が使えるようになる。
2. 意見を聞いたり言ったりする事ができる。
 - a. 身近なトピックについての意見を聞いて理解できるようになる。
 - b. 身近なトピックについて自分の意見を言う事ができる。
 - c. 英語で質問ができるようになる。

◆使用教材：

1. World Link Video Course Book 2

英語で話すことに慣れていない人は、この教科書を使って是非自宅でも充分話す練習をして下さい。

2. World Link Online Video Course Book 2

これは英会話のオンライン教材です。インターネットを通じて火曜日の授業の内容の練習問題を行う事になります。登録は MyELT を通して自分で行う事になります。登録の仕方は最初の授業のときに説明しますので、MyELT Online Resource for: World Link Online Video Course Book 2 と書かれた二つ折りのカードを持って来て下さい。(カードは教科書に同梱されています)

注意 カードに書かれたアクセスコード(ACCESS CODE)は決して無くさないでください。アカウントを使用するには、授業のコード(Course Key)も必要になります。授業コードは、クラスが決まった後、受け持ちの先生が伝える事になっていますので、聞いたら忘れないように下の欄に書いておいてください。すべてのタスクは成績に反映するので、積極的に行いましょう。

ACCESS CODE:	<i>Instructors</i> Listening and Speaking: Reading:
Course Key:	
Your ID:	
Password:	

2. 金曜日の2限または3限（前期） / 1限または2限（後期）の授業：Reading Class

金曜日の朝の授業は Reading 中心の授業です。Reading といっても英語の文章を読んで日本語に訳すことはしません。英語で書かれた文章の構造を分析したり，内容を吟味したり，学術的な内容の文章に特有の表現を実際に文章を読みながら把握し，英作文に応用できるようにする。担当の先生は，皆さんにどのような方法で文章を読むと内容が正確に理解できるのか，工夫しながら授業を行います。皆さんも自分が文章を理解する為にはどんな方法で勉強すると一番うまくいくのか，工夫しながら勉強してってください。

リーディングのクラスでは宿題がたくさん出ます。ただ，読むだけのときもあるかもしれませんが，それ以上のものが多いと思います。

◆目標：

1. 英語の文章に慣れる。
2. アカデミック語彙を増やす。
3. 正確に早くたくさん読む習慣をつける。
4. 英語を読みながら新しい知識を身につける。
5. 英語の質問に英語で答える習慣をつける。

◆方法：

1. 授業の前に必ず予習をする。教科書の文章を必ず一度は読んできましょう。
2. 授業中のアクティビティに積極的に参加する。
3. 新しい語彙を積極的に覚える。発音やスペリングにも気をつけましょう。
4. 文章を読んで，概要をノートにまとめてみる。文章をアウトライン化する。
5. 音読をする。シャドウイングも効果的です。（単語を読み飛ばす習慣から脱却しましょう）
6. 何度も教科書の同じ文章を読んでみる。何回か読むだけでなぜか意味が分かるようになります。

◆使用教材：

1. *Exploring Content 1*

Unit 4 はスケジュールの関係で授業ではカバーしませんが，独学の教材として使用してください。

授業の内容に関して，Writing の宿題が出ることもあります。Reading と Writing は同じ書き言葉を使用するスキルです。文章を書くときは同じようなタイプの文章の書き方を参考にするのが良い方法です。しかしながら，不正行為につながるような，文章をそのまま書き写すという行為は絶対に慎んでください。参考にするのは，文の構造や語彙の使用法にとどめ，元の作者の考え方で自分の意見として発表してはいけません。これは，日々の宿題にも当てはまります。友達の宿題をそのまま写して出したり，家族に宿題をやってもらったりなどするのも，不正行為になりますので，絶対に行わないでください。

一年生では，英文の小さい単位である「パラグラフ」がしっかり書けるようになるのが目標です。トピックセンテンスの書き方，それをサポートする例や説明の書き方をしっかり身に付けることが重要です。

3. 金曜日の1限または6限（前期のみ）：Basic English

4月の初めに行われたプレースメントテストの結果、基礎的な英語の力が十分でないと判断された学生は基礎英語のクラスを受講することになります。この授業を受けることができる人は、FクラスとLクラスの学生だけです。他のクラスの学生は下のスケジュールを参考に授業の内容を自習してください。教科書は生協で販売しています。定期試験にはこの授業でカバーする内容も出題されます。（授業がなくなる後期の定期試験にも文法、語法の項目として出題されます）このクラスを受講すると単位（1単位）が認定されますので、該当クラスの学生は必ず履修申請を行ってください。

◆使用教材： *College English Seminar*：新しくはじめる大学英語演習 竹前文夫他 南雲堂)

- | | |
|-----------------------------|--|
| 1. オリエンテーション | 2. Unit 1 & 2 |
| 3. Unit 3 & 4 | 4. Unit 5 & 6 |
| 5. Unit 7 & 8 | 6. Unit 9 & 10 |
| 7. 復習 | 8. 中間テスト (English I の中間テストの一部として出題されます。) |
| 9. Unit 11 & 12 | 10. Unit 13 & 14 |
| 11. Unit 15 & 16 | 12. Unit 17 & 18 |
| 13. Unit 19 & 20 | 14. 復習 |
| 15. 復習 | |

B. 成績

成績は各クラスの授業の評価（Class Score）、Class Project、中間テスト、期末テストの評価の4つを総合しAからEまでで評価されます。AからCまでが合格点です。（A：100～80点、B：79～70点、C：69～60点、D：60未満）いかなる理由でも（火曜日と金曜日のクラスを合算して）欠席を6回以上した場合は、成績が一段階(A→B, B→Cのように)下がります。出席、欠席に関するポリシーは6ページの⑤を参考にしてください。

◆成績の内訳：

Class Score	
Listening and Speaking class score	20%
Reading class score	20%
中間テスト	
Listening	12.5%
Reading	12.5%
期末テスト	
Listening	12.5%
Reading	12.5%
Class Project	10%
(Extra Credit—Class Project)	最大 5%
(Extra Credit—TOEFL, TOEIC)	最大 5%

①Class Score について

Class Score は授業への参加度，態度，小テストなどのクラス中の活動を総合的に評価した点のことです。授業の始めに担当の先生が Class Score についての説明をしますので，よく聞いて理解しておくこと。

英語の授業中は以下の行為は絶対に禁止です。

- (1) 飲食
- (2) 携帯電話の使用
- (3) 居眠りやおしゃべり
- (4) 教科書，教材の不所持
- (5) その他，『修学の手引き』に記載してあるすべての禁止事項

これらの行為を行った場合，欠席扱いとした Class Score も減点されます。

②定期テスト

各学期，中間テスト(Midterm Exam)と期末テスト(Final Exam)が Listening のセクションと Reading のセクションそれぞれにあります。試験の予定日と場所は別紙のクラススケジュールに記載してあります。

③Class Project

授業時間外に個人で行うタスクで，各担任が指導・評価します。クラスによってフォーカスが違いますので，担任の教員の指導に従ってください。これは成績の 10%に換算されますが，特に優れている場合，更に 5%の Extra Credit が加点されます。そのため，これによって成績が決まってしまうといっても過言ではありません。詳しくは担任の先生からアナウンスがあります。内容に関する質問は担任の先生にしてください。

目標： 英語を教わるという受け身ではなく，自分の興味のある題材で英語を使い習慣的に楽しみながらタスクを達成する。

内容： 担任の指導に従う。

④Extra Credit (最大 10%)

Class Project で特に優れていた者には，Extra Credit として最大 5%が加点されます。

プレースメントテストと同様の形式である TOEFL-ITP (有料，希望者のみ) を 12 月に行う予定です。4 月のスコアと比較して，点数が大きく (50 ポイント以上) のびている場合は Extra Credit の対象となります。自己申告制ですので，対象者は 4 月のプレースメントテストの結果と 12 月の TOEFL の結果を用意して後期学期末に担任の先生に渡してください (後期の成績に反映)。

入学時の TOEFL-ITP のスコアが 500 点未満だった学生が英語のクラスを受講中に TOEIC のスコアで 600 点を超えた場合，Extra Credit の対象とします。TOEFL-ITP および TOEIC に関して，上記のいずれかを満たした場合，Extra Credit として 5%が加点されます。

Note: 本学には TOEIC で 600 点以上の学生を表彰する制度があります。大学の表彰を受けるためには，申し込みが必要なので，在学中に受けた TOEIC のスコアが 600 点を超えた場合，スコアカードを決して無くさないようにしてください。詳細は掲示されます。

⑤出欠について

出席：すべての授業に出席することを基本とする。いずれかのセクションまたは全体の3分の2未満の場合：E または D (いずれも不合格)

遅刻：授業開始後 10 分以内に教室に入った場合は遅刻とみなす。遅刻 3 回で欠席 1 回となる。10 分後以降に教室に入った場合は欠席とするが、授業参加点は可算される。

欠席／遅刻／早退等の理由について：

いかなる理由でも欠席・遅刻・早退は記録に残る（忌引き、電車遅延などを含む）。ただし、やむを得ない事情があって遅刻・欠席・早退等をしなければならない時は、各教員の判断でクラス点に反映できることがあるので、事前に申し出ること（ケースバイケースで取り扱う）。

特に中間、期末試験の欠席に関しては事前に届け出があった者のみ追試を許可する。追試のスケジュールは（試験期間中に行われるものをのぞき）各試験後 1 週間以内に設定するので先生と事前に相談すること。

追試について

追試を受けた場合、実際の点数の 80 パーセント を得点として評価する。中間テストの追試には特別な試験料はかかりませんが、期末試験の場合は他の科目と同様に事務室を通して手続きをしてください。いずれの試験においても追試を受けるためには事前に連絡が必要です。突発的な事情が起きて当日試験が受けられなくなりそうな場合は必ず試験の前までに生命事務に連絡してください。

C. コンピュータとインターネット

コンピュータは作文の宿題を提出したり、リスニングの課題を行ったりするときに必要です。学内にはコンピュータ教室や自分のノートパソコンを接続できる情報教室があり自習に使えます。コンピュータ教室で自習をする場合は、ルールを守って静かに行ってください。

World Link Video (Listening and Speaking) (<https://myelt.heinle.com>)

Codex (<http://codex.ls.toyaku.ac.jp/moodle/>)

EFL ホームページ (<http://www.ls.toyaku.ac.jp/Life-Science/eflc-4/>)

D. 不正行為

不正行為が行われた場合は厳罰に処せられます。他人の宿題を書き写したり、試験の時に不適切な行為をしたりした場合だけでなく、特に英作文の場合、自分以外の人が書いた文章を正確に引用することなく使用した場合にも不正行為（**plagiarism**）になります。具体的には他の人の意見を自分の意見として発表したり、（長い固有名詞などの名詞句は 1 語と数える）その人と同じ表現を 7 語以上連続して使用したりした場合、不正行為の対象になります。そのほか、英語の教材を許可なくコピーして使うことも著作権法上の問題に抵触する恐れがありますので、取り扱いには十分注意してください。

E. そのほか

英語担当の先生に質問があるときは火曜日と金曜日の授業の時にして下さい。ほとんどの先生は火曜日または金曜日だけ大学にきます。提出物を出し忘れて遅れて出したい場合は直接担当の先生に聞いてみて下さい。遅れて提出された宿題は公平の観点から、期限通りに提出された宿題と同様な評価はされません。宿題の再提出を命じられた場合は必ず次の週の同じ時間の先生に提出して下さい。

英語の先生と連絡を取る場合に E-mail を使う場合もあります。E-mail で問い合わせをする時は、必ず自分の名前、学年、クラスなどを本文中に明記し、宛先の先生の名前も必ず書いてください。用件は分かりやすく明瞭に書くこと。

English I

	Tuesday	4th / 5th Period	教室	備考
4.7		Placement Test (morning)		
4.14	1	Orientation		
4.21	2	All About Me		
4.28	3	All About Me		
5.5		<i>Holiday</i>		
5.12	4	Let's Eat!		
5.19	5	Let's Eat!		
5.26	6	Unsolved Mysteries		
6.2	7	Unsolved Mysteries		
6.9	8	Midterm Examination	1201/ 1202(予定)	4 限または 5 限 (4 限または 5 限:外国語は 2 クラス合同授業)
6.16	9	Today's Trends		
6.23	10	Today's Trends		
6.30	11	In the Neighborhood		
7.7	12	In the Neighborhood		
7.14	13	Student Life		
7.21	14	Student Life		

	Friday	2nd / 3rd Period	教室	備考
4.10	1	Orientation		
4.17	2	Unit 1: Chapter 1		
4.24	3	Unit 1: Chapter 1		
5.1	4	Unit 1: Chapter 1		
5.8	5	Unit 1: Chapter 1/2		
5.15	6	Unit 1: Chapter 2		
5.22	7	Unit 1: Chapter 2		
5.29	8	Unit 1: Chapter 2		
6.5	9	Midterm Exam	1201/1202	1 限 (2, 3 限はなし)
6.12	10	Unit 2: Chapter 3		
6.19	11	Unit 2: Chapter 3		
6.26	12	Unit 2: Chapter 3		
7.3	13	Unit 2: Chapter 4		
7.10	14	Unit 2: Chapter 4		
7.17	15	Unit 2: Chapter 4		

English II

	Tuesday	4th / 5th Period	教室	備考
9.15	1	Let's Celebrate!		
9.29	2	Let's Celebrate!		
10.6	3	Fables and Fairy Tales		
10.13	4	Fables and Fairy Tales		
10.20	5	The World of Work		
10.27	6	The World of Work		
11.3		<i>Holiday</i>		
11.10	7	Review		
11.17	8	Midterm Exam	1201/1202	4 限：外国語 2 クラス合同授業, 5 限に英語試験
11.24	9	Telecommunications		
12.1	10	Telecommunications		
12.8	11	Technology Today		
12.15	12	Technology Today		
12.22	13	Let's Go Somewhere!		
1.12	14	Let's Go Somewhere!		
1.19	15	Oral Exam		

	Friday	1st/2nd Period	教室	備考
9.18	1	Unit 3: Chapter 5		
9.25	2	Unit 3: Chapter 5		
10.2	3	Unit 3: Chapter 5		
10.9	4	Unit 3: Chapter 5, 6		
10.16	5	Unit 3: Chapter 6		
10.23	6	Unit 3: Chapter 6		
10.30	7	Unit 3: Chapter 6		
11.6		<i>School Holiday!</i>		
11.13	8	Midterm Exam	1201/1202	1 限に試験 (2, 3 限はなし)
11.20	9	Unit 5: Chapter 9		
11.27	10	Unit 5: Chapter 9		
12.4	11	Unit 5: Chapter 9		
12.11	12	Unit 5: Chapter 9, 10		
12.18	13	Unit 5: Chapter 10		
1.8	14	Unit 5: Chapter 10		
1.15	15	Unit 5: Chapter 10		

